

生活困窮世帯等の子どもの成長と家庭の生活の安定に向けた
学習・生活支援の拠点事業の運営事業者候補者の選定について

1 主旨

本事業(上北沢5丁目)の運營業務を委託するにあたり、プロポーザル方式による公募を実施し、運営事業者の候補者を選定したので報告する。

2 運営事業者の候補者名等

- (1) 事業者名 社会福祉法人 福音寮
(2) 所在地 東京都世田谷区上北沢3-1-19
(3) 代表者 理事長 飯田 政人

3 プロポーザル経過

令和3年	2月12日	プロポーザル公告
	3月16日	参加表明書提出期限(2事業者が提出)
	4月9日~	財務審査
	4月14日	企画提案書提出期限(2事業者が提出)
	4月16日~	書類審査
	5月10日	プレゼンテーションによる審査

4 選定の方法等

(1) 選定方法

選定委員会を設置し、審査基準に基づき、提案書の書類審査、プレゼンテーションによる審査及び公認会計士による財務審査を行い、総合的に評価した。

(2) 選定委員会の構成(五十音順)

氏名	役職・所属等
大里 貴代美	烏山総合支所保健福祉センター 子ども家庭支援課長
西野 博之	NPO法人フリースペースたまりば 理事長
柳澤 純	子ども・若者部長
湯澤 直美	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授

委員長：子ども・若者部長

5 審査・選定結果

(1) 審査・選定結果

評価項目		配点	福音寮	次点
実施方針	国及び区の子どもの貧困対策への理解、本事業の主旨や内容の理解	40	38	24
事業計画	居場所づくり	60	45	42
	学習支援	40	24	38
	生活支援	60	39	39
	保護者を含む相談支援	40	26	30
	地域連携	80	68	44
実施体制	事業の推進体制	60	42	39
	トラブル対応の体制	20	14	15
実施方針等合計		400	296	271

経営状況（財務審査）	160	160	160
プレゼンテーション	240	165	145
合計	800	621	576
	100%	77.6%()	72.0%()

()満点に対しての評価点割合

(2) 主な選定理由

当該事業者は、本事業の対象者となる生活困窮をはじめ複合的な課題を抱える子どもや家庭に対して、法人が営む児童福祉分野の多様な社会福祉事業の経験をもって提案事業に臨もうとする姿勢が見られ、また、本事業の実施地域の特性を十分に理解し、地域の多様な関係機関と連携・相互協力をしていく具体的な見通しをもっている点は評価できる。

一方で、職員配置については、多様な経験をもつ人材を配置し、法人からのバックアップ体制を整え、子どもが主体となれる居場所を子どもと一緒に創り上げること、学習支援や生活支援、保護者への相談支援をはじめとする取り組みについては、子どもや家庭の個々の実情に応じた柔軟な支援ができるよう、区と協議しながら、事業内容のさらなる具体化を図ること等の意見を付して、当該事業者の提案を採択するとの評価に至った。

6 この間の取り組み

・地域の関係機関等との調整

本事業を通じて、地域と連携しながら子どもたちを継続的に見守るため、地域の関係機関等との調整（事業主旨説明等）を行っている。

主な関係機関等

- 中学校、小学校（弟妹がいる場合）や教育相談室、児童館、青少年交流センター、社会福祉協議会等といった地域の支援機関
- 町会、自治会や主任児童委員、民生・児童委員、青少年委員、子ども食堂をはじめとする地域の子ども支援団体等

・利用者の調整

児童相談所及び子ども家庭支援センターと、それぞれが支援しているケースを利用につなげるための調整を行っている。

7 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|----------|---|
| 令和3年6月1日 | 運營業務委託（準備業務含む） |
| 6月～ | 選定事業者も交えた関係機関等との調整（事業詳細説明等）
近隣住民への説明 |
| 7月 | 施設内覧会、周知（区ホームページ） |
| 7月 | 福祉保健常任委員会（本事業実施の報告） |
| 8月上旬～ | 本事業開始 |